

# 第1章 うるま市の概要

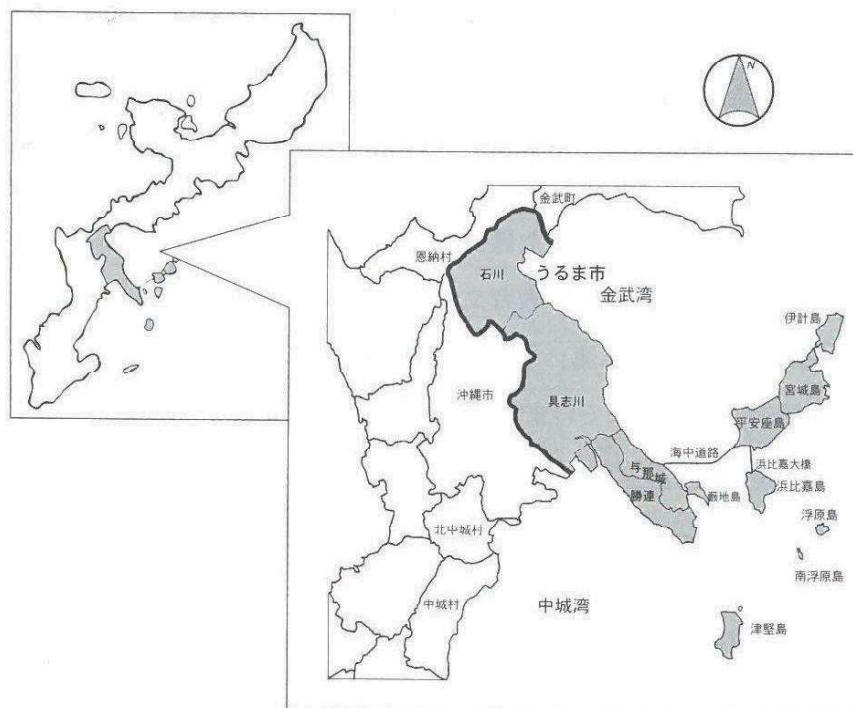


# うるま市の概要

## (1) 位 置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から北東へ約25kmの距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の8つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。又、県内では人口で3番目、面積で6番目の規模となっています。

### ◎ 図：うるま市の位置



うるま市の位置			市庁舎の位置	
方位	地名	経緯度	地名	経緯度
極東	伊計	東経 128° 00' 15"	うるま市みどり町 一丁目1番1号 (本庁舎)	東経 127° 51' 27" 北緯 26° 22' 45"
極西	嘉手苧	東経 127° 47' 17"		
極南	津堅	北緯 26° 14' 29"		
極北	石川	北緯 26° 27' 01"		

### ◎ うるま市のデータ

人口：125,570人（令和4年3月末日現在）

世帯数：55,333世帯（ ” ” ）

面積：87.02km<sup>2</sup>

市長名：中村 正人

所在地：うるま市みどり町一丁目1番1号

電話：098-974-3111（代表番号）

ホームページ：<http://www.city.uruma.lg.jp>

## (2) 沿 革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつてサトウキビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年（1666年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越來間切に含まれる農村集落でした。その後、越來間切から分割された美里間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米国により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、尚真王の甥にあたる与那城王子朝原が授かった西原間切の集落でした。その後、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972年）や伊計大橋（1982年）、藪地大橋（1985年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

### (3) うるま市の人口

#### (イ) 行政区別住民登録人口

令和4年3月末現在

行政区名	行政区コード	世帯数	男	女	計
具志川	1	1,973	2,305	2,419	4,724
田場	2	2,218	2,658	2,772	5,430
赤野	3	861	1,054	1,010	2,064
宇堅	4	509	666	621	1,287
天願	5	605	642	668	1,310
昆布	6	859	925	926	1,851
栄野比	7	949	1,047	985	2,032
川崎	8	947	1,135	1,157	2,292
西原	9	1,230	1,584	1,552	3,136
安慶名	10	1,423	1,480	1,603	3,083
平良川	11	1,008	1,184	1,195	2,379
上平良川	12	1,167	1,378	1,414	2,792
兼箇段	13	728	867	853	1,720
米原	14	1,099	1,327	1,348	2,675
赤道	15	2,488	2,576	2,664	5,240
江洲	16	1,785	2,137	2,169	4,306
宮里	17	1,751	1,814	1,896	3,710
喜仲	18	1,313	1,527	1,593	3,120
上江洲	19	1,236	1,398	1,392	2,790
大田	20	811	929	924	1,853
川田	21	466	544	535	1,079
塩屋	22	879	1,114	1,035	2,149
豊原	23	647	808	807	1,615
高江洲	24	557	681	751	1,432
前原	25	821	910	916	1,826
志林川	26	1,037	1,164	1,263	2,427
新赤道	27	773	873	936	1,809
みどり町1・2	28	931	1,135	1,226	2,361
みどり町3・4	29	1,015	1,181	1,192	2,373
みどり町5・6	30	960	1,060	1,085	2,145
具志川地域 計		33,046	38,103	38,907	77,010
曙	31	1,447	1,563	1,563	3,126
南栄	32	469	482	441	923
城北	33	883	1,011	966	1,977
中央	34	460	496	530	1,026
松島	35	550	538	513	1,051
宮前	36	556	488	512	1,000
東山	37	909	831	761	1,592
旭	38	1,060	1,135	1,282	2,417
港	39	621	600	576	1,176
伊波	40	957	1,110	1,125	2,235
嘉手苺	41	382	379	414	793
山城	42	454	547	497	1,044
石川前原	43	1,394	1,653	1,719	3,372
東恩納	44	757	826	802	1,628
美原	45	403	433	429	862
石川地域 計		11,302	12,092	12,130	24,222
南風原	46	1,613	1,842	1,802	3,644
平安名	47	1,750	2,176	2,008	4,184
内間	48	485	549	516	1,065
平敷屋	49	1,467	1,772	1,457	3,229
津堅	50	235	232	143	375
浜	51	126	133	96	229
比嘉	52	107	101	65	166
勝連地域 計		5,783	6,805	6,087	12,892
照間	53	543	659	613	1,272
与那城西原	54	651	731	830	1,561
与那城	55	593	749	704	1,453
饒辺	56	659	768	743	1,511
屋慶名	57	1,665	1,914	1,735	3,649
平安座	58	584	621	547	1,168
桃原	59	110	106	81	187
上原	60	114	110	70	180
宮城	61	91	82	65	147
池味	62	49	53	33	86
伊計	63	143	136	96	232
与那城地域 計		5,202	5,929	5,517	11,446
合計		55,333	62,929	62,641	125,570

資料：住民基本台帳行政区別人口及び世帯数

(ロ) 年度別人口動態 (4月1日～3月31日)

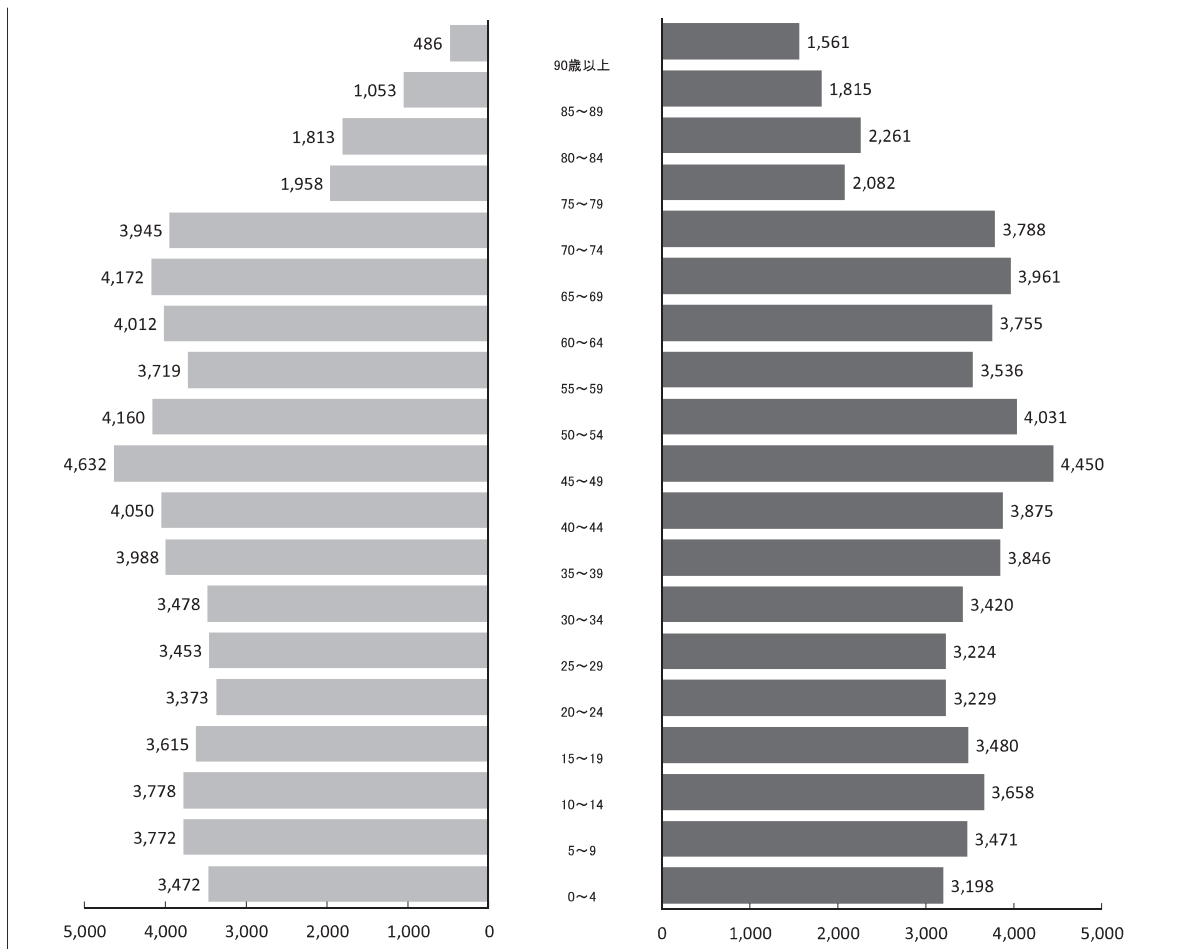
(単位：人)

年次	人口増加数			自然動態		社会動態		婚姻	離婚
	総数	自然	社会	出生	死亡	転入	転出		
平成29年度	606	261	345	1,339	1,078	5,390	5,045	676	314
平成30年度	706	270	436	1,337	1,067	5,638	5,202	653	341
令和元年度	589	217	372	1,299	1,082	5,749	5,377	741	368
令和2年度	791	134	657	1,302	1,168	5,517	4,860	661	320
令和3年度	177	47	130	1,277	1,230	4,906	4,776	620	289

(ハ) 人口構成 人口ピラミッド (令和4年3月末時点)

男 62,929人

女 62,641人



(二) 年度別人口の推移

区分	うるま市									
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
男	60,210	60,367	60,888	61,148	61,511	61,824	62,322	62,707	63,021	62,929
女	60,130	60,319	60,697	60,939	61,191	61,484	61,692	61,896	62,373	62,641
計	120,340	120,686	121,585	122,087	122,702	123,308	124,014	124,603	125,394	125,570

## (4) 令和4年度 うるま市一般会計歳入歳出予算（当初）

歳入 (単位:千円)

款	金額	割合
市税	11,917,580	17.8%
地方譲与税	254,471	0.4%
利子割交付金	3,958	0.01%
配当割交付金	13,624	0.02%
株式等譲渡所得割交付金	12,939	0.02%
法人事業税交付金	124,974	0.2%
地方消費税交付金	2,517,866	3.8%
ゴルフ場利用税交付金	20,680	0.03%
環境性能割交付金	18,935	0.03%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	587,814	0.9%
地方特例交付金	56,417	0.1%
地方交付税	14,634,146	21.9%
交通安全対策特別交付金	11,164	0.02%
分担金及び負担金	300,262	0.4%
使用料及び手数料	778,312	1.2%
国庫支出金	18,293,458	27.4%
県支出金	8,340,503	12.5%
財産収入	483,704	0.7%
寄附金	306,783	0.5%
繰入金	3,690,825	5.5%
繰越金	1	0.0%
諸収入	588,471	0.9%
市債	3,819,324	5.7%
歳入 合計	66,776,211	100.0%

歳出 (単位:千円)

款	金額	割合
議会費	349,660	0.5%
総務費	4,718,082	7.1%
民生費	32,602,635	48.8%
衛生費	4,032,497	6.0%
労働費	198,265	0.3%
農林水産業費	1,593,976	2.4%
商工費	1,270,958	1.9%
土木費	6,205,687	9.3%
消防費	1,532,213	2.3%
教育費	9,055,210	13.6%
災害復旧費	57,285	0.1%
公債費	5,009,743	7.5%
予備費	150,000	0.2%
歳出 合計	66,776,211	100.0%

